

安心・安全に楽しめる、withコロナ時代の施設運営

- ・ 業種別ガイドライン「集会所・公会堂」、「食堂、レストラン、喫茶店等」に沿って、ガイドラインを策定の上、その内容に沿って適切に運営を行います。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、上記ガイドラインのもと、下記の内容を基本として、感染症拡大の状況や、国や大阪府の方針に従い柔軟に対応しながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止につなげます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 掲出内容（案）

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、β本町橋をご利用の際には下記のご協力をお願いいたします。
 - ・ マスクの着用をお願いいたします。（ワクチン接種の有無に関わらず全員着用）
 - ・ 手洗いやアルコール消毒にご協力ください。
（β本町橋の入口には手指消毒用のアルコールを設置しています。）
 - ・ 他の利用者との間隔を1m以上開けてご利用下さい。
 - ・ 大きな声での会話等は控えてください。
 - ・ 混雑の状況により、人数の制限を行う場合があります。
 - ・ 施設内でのイベント開催の場合には、定員の50%の人数制限で開催いたします。
 - ・ イベントなどは予約制とし不特定多数の密集を避けて開催いたします。
 - ・ 以下のいずれかに当てはまる方は、ご来館をお控えください。
 - （1）37.5度以上の発熱（または平熱比1度超過）のある方。
 - （2）息苦しさ、強いだるさのある方。
 - （3）軽度であっても咳、のどの痛みなどの症状がある方。
 - （4）新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触のある方。
 - （5）過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者と濃厚接触のある方。
 - （6）ご自身の体調にご懸念・ご心配がある方。



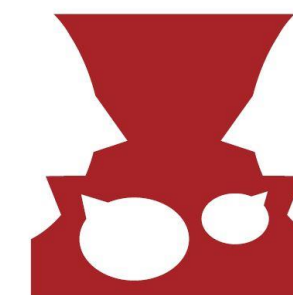
換気



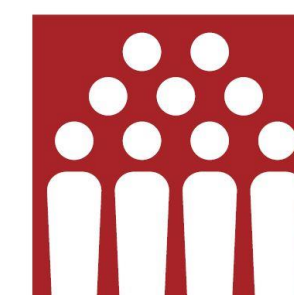
咳エチケット



手洗い



密接回避



密集回避



密閉回避

β本町橋の活動から、水辺・まち・人の魅力を伝える広報活動

- β本町橋の基本的な情報の周知と合わせて、SNSやWEBサイトを通してプログラムやプロジェクトなど、β本町橋での日常的な事業活動の情報発信を行います。
- β本町橋での活動内容を1年毎に取りまとめ、利用者やプログラム参加者、応援してくれる方々に向けて活動報告を行い、β本町橋のコンセプトや活動意義を伝えます。

WEBサイト・SNS

- β本町橋のWEBサイト、SNSを立ち上げ、利用者がスムーズにβ本町橋を楽しめるように基本的な情報やリアルタイムの情報を発信します。
- WEBサイトにてプログラムやイベントの告知を行うとともに、予約も受け付けます。

【更新頻度】 随時

【内容】

- スマートフォン表示対応のホームページの開設
- Instagram、Facebook、Twitterの開設
- オンラインでの問合せ・予約対応
- SNS広告を活用したターゲットに応じたプロモーション

ユーザー向け情報発信

- β本町橋の活動に参加したり、利用した方で連絡先を登録いただいた方へ、定期的に情報を発信します。
- 定期的に連絡することで、リピーター確保に努めます。

【更新頻度】 年2~3回

【内容】

- シーズナルなイベント情報
- オープンパーティなどの交流会へのご案内

アニュアルブック

- β本町橋の年間活動報告やまちの情報をレポートにまとめ、アニュアルブックとして、β本町橋に連絡先を登録してくれた方々へお届けします。
- 年度報告を通じて、β本町橋の歩みや、コンセプト・活動意義を広めます。

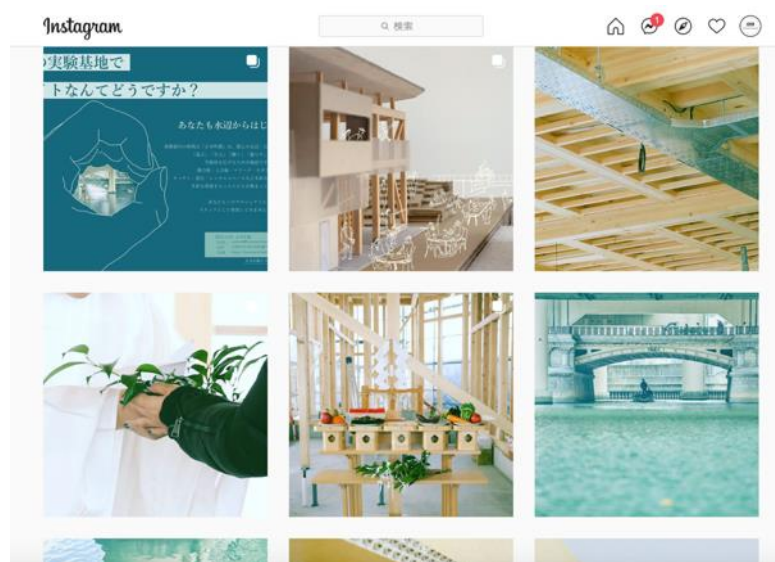
【更新頻度】 年1回

【内容】

- 年間の活動内容の報告
- 次年度の活動にむけたイメージの共有



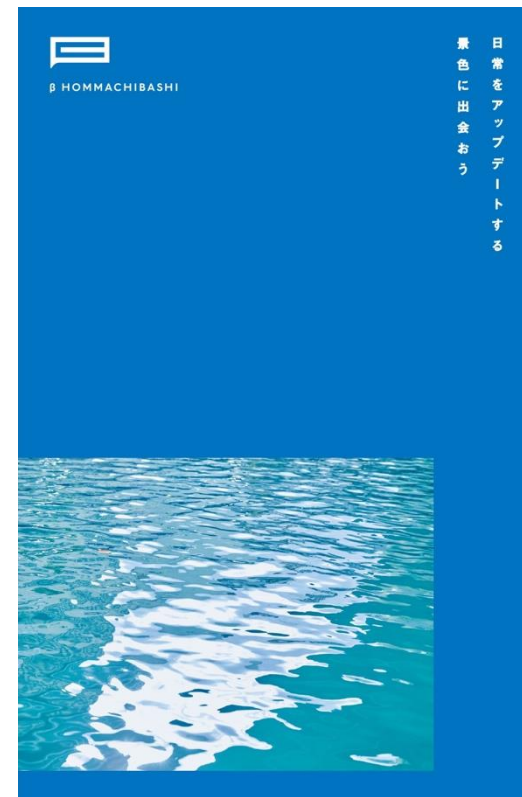
β本町橋WEBサイト



β本町橋 Instagram



アニュアルブックイメージ





私たちが変われば まちは変わる

まちにお気に入りの居場所が増えた。
想像もしていなかった人間関係が生まれた。
まちを流れる川にも豊かな生態系があると知った。
水辺から眺めてみれば、今までとはちょっと違う
新しい暮らしの景色が見えてきます。
ひとりではできないことも、ここでなら
共感でつながった人たちと一緒にやれそうな気がする。
みんなの「やってみよう」の気持ちを込めて、
日常のアップデート、はじめます。

ちょっとずつ未来をつくる

まちに素敵な知り合いが増える



家とも学校とも会社とも違う居場所に



まちに関わるってカッコいいかも



知らなかった価値観に出会える

誰かの小さな一歩を後押ししよう

やりたかったこと、やってみよう

水辺で過ごす時間を日常に



すぐそばにある生態系に気づく

世代を超えて語り合おう



水辺からまちの歴史をひもとく



共感で世界とつながる



member

β本町橋共同事業体

まちを、水辺を、水都大阪をもっと生き生きと、持続可能に。
そんな想いの仲間が集まってβ本町橋を運営しています。

一般社団法人水辺ラボ

ひと・まち・水辺をつなぐβ本町橋共同事業体の事務局。2006年にスタートした東横堀川水辺再生協議会(e-よこ会)で出会ったメンバー有志が集結し、2019年に設立。β本町橋を核として、20年かけて東横堀川全体のまちづくりとエリアマネジメントにチャレンジ。次世代型のパブリックモデルを追求し、公共空間からまちの可能性を切り拓きます。



株式会社GROLIA

動力船で水辺の楽しみを拡げる担当。2000年から大阪で釣船クルーズ“シーマジカル”を、2012年から大阪市内での観光クルーズ“グロリア”をスタート。川船だけでなく海船の得意も生かして、川と海、まちをつなぐクルーズを運行。観光目線だけでなく、地域や暮らす人目線での水辺の使い方にも可能性を感じ、β本町橋のプロジェクトに参加。

<https://gondola-bar.com>



有限会社リゾートバンク(一般社団法人日本シティサップ協会)

人力船で水辺の楽しみを拡げる担当。2009年、まちなかの水辺の価値と魅力を知ってもらおうと、大阪府・市の協力のもと実施した体験イベントから日本シティサップ協会をスタート。“屋根付き”で“日本一人力船に優しい浮棧橋”もある人力船天国な東横堀川に可能性を感じ、β本町橋のプロジェクトに参加。

<https://www.citysup.jp>



大希産業株式会社(スギタグループ)

β本町橋共同事業体のリーダー。枚田勘一郎社長が率いるスギタグループは、江戸時代初期創業。ガモヨン古民家プロジェクトなど、歴史や伝統を活かし、地域とともにあるまちづくりを展開。「未来の子どもたちの為にも、川と陸を融合する大都市大阪」という強い思いから、β本町橋のプロジェクトに参加。

<https://sugita-j.com>

